事例No.	2414
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	珠洲市特定地域づくり事業協同組合

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・人材確保・育成 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

珠洲市特定地域づくり事業協同組合
移住者である派遣職員が地域活動に参加し、地域を活性化！

出典

特定地域づくり事業協同組合事例集

事　例

珠洲市特定地域づくり事業協同組合

移住者である派遣職員が地域活動に参加し、地域を活性化!

石川県 珠洲市

活用のきっかけ・期待すること

▶地域の区長等を務める現事務局長が、事業所の人材不足や農林漁業の後継者問題を危惧し、「若者がいないと地域が存続しない。そのためには働ける場所が必要」と考え、地区内事業所に呼びかけ、６事業所が発足メンバーとして集い、設立を目指した。

▶市内の様々な事業所で働く中で、技術を身につけ、後々は組合員事業所への直接雇用や市内で起業し、市内での地域づくり人材として活躍することを期待している。

取組内容

▶移住者等を雇用し、地域の事業者へ派遣

地域の農業、酒造業、宿泊業、引退馬支援、道の駅等、14の事業者の仕事を組合せ、年間通じた安定した仕事を創出。

これまでに組合で雇用した15名（うち14名が移住者）の職員を各事業者に派遣（マルチワーク）することで、移住・定住を促進し、地域づくりや地域産業の担い手の確保・育成を目指している。

地域の活性化

▶地域活動に参加することによる地域の活性化に寄与

組合の研修で地域の習慣や行事について紹介等することで、派遣職員が、伝統祭礼「キリコ祭り」、「奥能登国際芸術祭」でボランティアサポーター、青年団員に参加する等、地域イベントを盛り上げ、仕事以外の時間も地域内で楽しんでいる。

若者が地域行事に参加することで新たな交流が生まれ、地域に活気が生まれている。

マルチワークのイメージ

社員		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	30代男性	農業／米づくり（週5日）						酒蔵／蔵人（週5日）					
B	20代女性	引退馬支援事業／馬のお世話（週4日）											
		農業／ケール栽培・収穫（週1日）											
C	20代女性	観光施設／販売（週5日）								道の駅／販売（週3日）			
										飲食店／接客（週2日）			
D	30代女性		宿泊施設／清掃・接客（週3日）							（週2日）			
			炭焼工場／事務・発送（週2日）							（週3日）			





組合に関わる皆さんの声

▶組合員(自家製豆腐が自慢の道の駅)

派遣職員OBが正社員として入社し豆腐製造の後継者に。また、現役派遣職員の働きかけにより、別の派遣先の飲食店で豆腐提供が始まる等、事業所同士が繋がるきっかけにもなっており、人材確保の面以外にも効果を感じている。



▶派遣職員（20代千葉県から移住）

引退馬支援をしている会社で馬の世話と農業法人でケール栽培に従事。動物と関わる仕事がしたくて応募したが、元々興味のあった農業も経験できてありがたい。田舎特有の地域コミュニティが好きで、ご近所付合いや青年団活動も楽しんでいる。

